

今月のトピックス

感染性胃腸炎の定点あたりの報告数が、警報レベルの「20」を超えました。

インフルエンザは、市全域ではまだ流行の目安となる定点あたりの報告数が「1」に達していませんが、金沢区、戸塚区、栄区及び泉区は高めです。

市内のインフルエンザ迅速診断キットにおける B 型の報告割合が3割近くを占めています。B型の多くが金沢区からの報告です。

全数把握の対象

- 腸管出血性大腸菌感染症:**12月15日現在で2例の報告がありました。感染経路については不明です。腸管出血性大腸菌感染症の発生時の対応については、横浜市衛生研究所 HP をご参考ください。
http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/infc_o157_guide.html
- レジオネラ症:**12月15日現在で1例の報告がありました。感染経路は不明です。レジオネラ症は、水中や土壌に通常存在しているレジオネラ属菌による感染ですが、15～43℃で繁殖し、循環式浴槽水、空調施設の冷却水、給湯器等の人工的な温水中に生息するアメーバ等原虫の細胞内で増殖するために、打たせ湯やジャグジー、加湿器、噴水等で発生したエアロゾルを吸入することで気道感染を起こして発症することが知られています。レジオネラ症について更に詳しい情報は、国立感染症研究所 HP をご参考ください。
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/legionellosis/sokuho0718.html>
- アメーバ赤痢:**12月15日現在で1例の報告がありました。感染経路は不明です。アメーバ赤痢は、飲食物を介した経口感染や性的接触により感染します。横浜市では1月から現在までに34件の報告があり、男性30件に対し女性は4件でした。経口感染によるものが9件、性的接触によるものが6件、感染経路不明が19件でした。アメーバ赤痢については、国立感染症研究所 HP をご参考ください。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/disease/entamoeba1.html>
- ウイルス性肝炎:**12月15日現在で1例の報告がありました。B型肝炎でした。性的接触により感染しますが、遺伝子型(genotype)によって、臨床経過に差があることが知られています。国内の genotype については、国立感染症研究所 HP をご覧ください。<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/27/319/dj3191.html>
また、横浜市での1月から現在までの肝炎の報告は、B型肝炎が2例のみでした。急性ウイルス性肝炎は、A型とE型は四類の届出、それ以外のウイルス性急性肝炎は五類感染症の全数届出となっています。届出基準と届出様式は横浜市衛生研究所 HP をご参考ください。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/infection/todoke.html>
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:**12月15日現在で1例の報告がありました。40歳代の女性です。創傷感染でした。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、死亡率の高い疾患です。国立感染症研究所 HP をご参考ください。
http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k02_g2/k02_46/k02_46.html
- HIV 感染症:**12月15日現在で1例の報告がありました。男性の同性間性的接触によるものでした。HIV 感染症については、横浜市衛生研究所 HP をご参考ください。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/disease/hiv.html>
- 梅毒:**12月15日現在で2例の報告がありました。梅毒については横浜市衛生研究所 HP をご参考ください。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/disease/syphilis1.html>
- 風しん:**12月15日現在で1例の報告がありました。風疹については横浜市衛生研究所 HP をご参考ください。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/disease/rubella1.html>

定点把握の対象

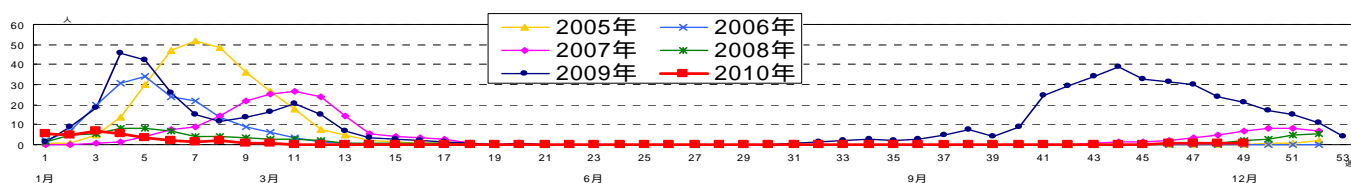
平成 22 年 週 - 月日対照表

第 45 週	11 月 8 ~ 14 日
第 46 週	11 月 15 ~ 21 日
第 47 週	11 月 22 ~ 28 日
第 48 週	11 月 29 ~ 12 月 5 日
第 49 週	12 月 6 ~ 12 日

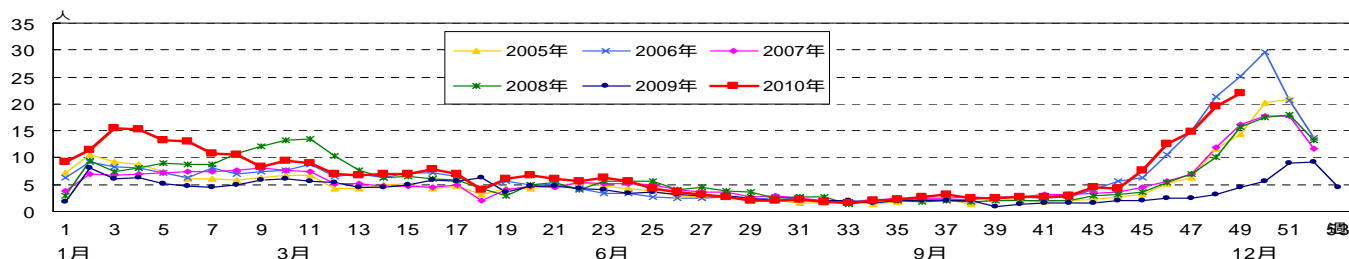
平成 22 年 11 月 8 日から平成 22 年 12 月 12 日まで(平成 22 年第 45 週から第 49 週まで。ただし、性感染症については平成 22 年 11 月分)の横浜市感染症発生動向評価を、標記委員会において行いましたのでお知らせします。

- 1 **インフルエンザ**: 第 49 週では定点あたりの報告数は 0.98 です。行政区別では金沢区が 3.75、戸塚区が 2.70、栄区が 1.60、泉区が 1.57 と高めです。全国では 0.93、神奈川県 0.92、川崎市 0.51、東京都 1.04 です。

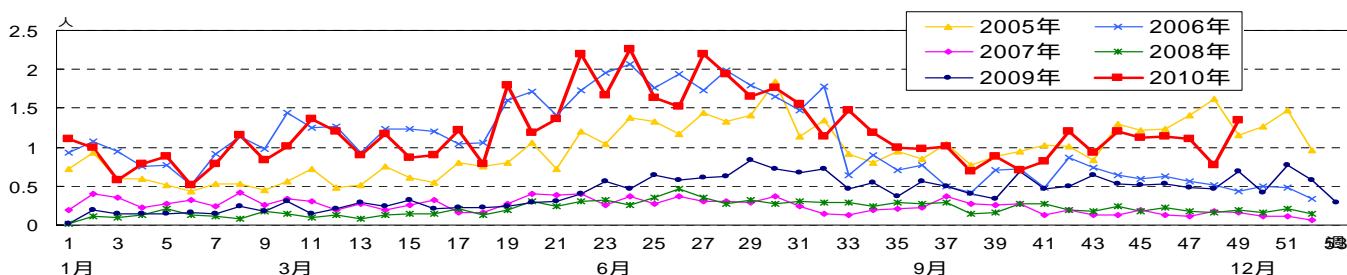
定点医療機関にご協力をいただいている迅速キットでは、A 陽性が 82 件、B 陽性が 31 件でした。金沢区では A 陽性が 5 件、B 陽性が 22 件と、市内 B 型の多くが金沢区で報告されています。11 月からの市内集団かぜの検査では、金沢区の小学校が B 型、泉区、都筑区、戸塚区、瀬谷区の計 4 施設では A 香港が検出されています。市内病原体定点では、今週は B 型が 1 件(港北区)検出されています。全国の病原体検出状況では第 36 週から 49 週までに AH1 pdm(新型)が 165 件、AH1(ソ連)は 0 件、AH3(香港)は 380 件、B(ビクトリア)は 17 件、B(山形)が 2 件検出されています。今後、金沢区の B 型の流行に注目していく必要があります。



- 2 **感染性胃腸炎**: 第 49 週では定点あたり 22.01 で、警報レベルです。行政区別では緑区 36.60、神奈川区 33.17、瀬谷区 32.50、旭区 32.40、港北区 28.25、港南区 27.80、泉区 25.00、都筑区 24.50、戸塚区 23.67、磯子区 22.00 の 10 区が警報レベルです。全国では 17.23、神奈川県 21.26、川崎市 22.06、東京都 19.35 と、広い範囲で流行が見られています。



- 3 **流行性耳下腺炎**: 第 49 週では定点あたり 1.34 です。行政区別では、神奈川区が 3.33、磯子区 2.75、緑区 2.20 港北区 2.13 の順に高めです。全国では 1.30、神奈川県 1.23、川崎市 1.09、東京都 0.37 です。



- 4 **性感染症**: 性感染症は、診療科でみると産婦人科系の 10 定点、および泌尿器科・皮膚科系の 17 定点からの報告に基づき、1 か月単位で集計されています。

11 月は、性器クラミジア感染症は男性 18 例、女性 13 例、性器ヘルペスウイルス感染症は男性 4 例、女性 9 例でした。尖圭コンジローマは男性 4 例、女性 4 例、淋菌感染症は男性 16 例、女性 2 例でした。

この感染症発生動向調査委員会報告とデータの詳細については、下記のホームページに掲載されていますので、他の記事と合わせてご覧ください。

横浜市衛生研究所ホームページアドレス URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>